

平成 29 年度 すこやかメールマガジン 第 584 号【その絵本は誰のためのもの？】

3 月 1 日配信

みなさんこんにちは (^\_^) /

つい最近、家族で本屋さんに行きました。我が子 2 人がそれぞれ絵本を選んでいる間、私もそのコーナーに並べられている絵本の中で気になったものを手にとってみていました。そのとき、自分が子どもたちの選んでいるものとは違った絵本ばかり手にしていることに気づき、ふとある記事を思い出しました。

絵本作家のせなけいこさんは、インタビューで親子 3 世代にわたって読み継がれている代表作「ねないこだれだ」について、つぎのように話しています。

(引用：東洋経済 ONLINE「名作絵本『ねないこだれだ』の意外な真実」<http://toyokeizai.net/articles/-/131828>)

「この本はよく、しつけのための本と間違われるのですが、そんなつもりで書いたのではありません。しつけの本だったら、子どもはこんなに好きになってくれるはずがありません。子どもは敏感ですからね。そういったことはすぐにわかってしまうんです。」

絵本の最後に、夜なかなか寝ない子どもがおばけに連れられて飛んでいくというシーンを、大人はしつけのメッセージだと思うかもしれないが、それは違うといいます。

「私の本にでてくるおばけは、子どもを脅すおばけではないんです。ましてや誰かが死んで、化けて出てくるのでもない。おばけは、おばけの世界で自由気ままに生きている。そして、子どもはそのことを知っているのです。だからちょっぴり怖くても、やっぱりおばけが好きで仕方がないんです。しつけをしたり、脅したりするおばけだったら、子どもが好きになるはずないじゃないですか。」

せなけいこさんがこれまで、お父さんやお母さんが喜ぶような絵本ではなく、あくまでも子ども目線で、子どもの世界をずっと描いてきたということがとてもよく伝わってきます。

「大人になると、自分もおばけの世界をのぞいていたことなどすっかり忘れてしまって、しつけとしておばけの本を読んだりしてしまう。でも、しつけのために絵本を読まれて、子どもは楽しいでしょうか？絵本は、大人のためのものではないんです。もちろん一緒に楽しめたほうがいいけれど、絵本はあくまで子どものものからです。」

その日の夜、買って来た2冊の絵本を子どもたちと一緒に読みました。自分たちで選んだ絵本に、2人ともとても満足した様子でした。親にとって都合のよいもの、大人が共感して涙してしまうものなど思わず手にしてしまいがちですが、創造力を働かせて、子どもの世界を大切にしたい絵本選びを、これからはもっと意識していきたいものだと思います。

【M】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」  
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス [kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp) をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしくお願ひします(^\_^)/

\*\*\*\*\*

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索